



発行: 社団法人日本山岳会北九州支部  
 事務局: 北九州市小倉南区志井6丁目  
 16-3-1003 江頭精一方  
 TEL 093-963-8940  
 発行人: 秦野一彦  
 編集人: 江頭精一・伊藤久次郎

# 10月から新体制で運営！ 臨時総会開く

事務局 10448 江頭精一

日本山岳会（JAC）北九州支部の臨時総会が、平成14年9月8日、午後1時から新小倉ビルの1号会議室で開かれた。

今回の臨時総会は、前回（4月）決まらなかった役員改選、事業計画、収支予算案

の審議が主なものだった。

会員数153人のうち、委任状を含め98人が参加、吉村支部長挨拶の後、議長選出を行い井本会員を議長に選出し、議事に入ったが冒頭から激しい言葉の質疑が出るなど、白熱したやりとりが行われた。

議案では、総会当日、吉村支部長から役員改選案のみが提出され、事務局提出の役員改正案、事業計画案、収支予算案と一括して審議を行った。

その結果、事務局案が賛成多数により採択され臨時総会を終了した。

## 臨時総会報告

第1号議案 役員改選  
右「新役員メンバー」のとおり決定。

第2号議案 平成14年度事業計画

- (1) 臨時総会開催（済）  
9月8日(日)PM1:00～PM3:00  
新小倉ビル1号会議室
- (2) 役員会  
平成14年度9月より原則月1回（第2水曜日）開催する。
- (3) 諸行事

- サロンルーム  
9月より毎月1回（第4水曜日「コール天」開催）
- 第19回全国支部懇談会  
9月21日(土)～22日(日)（広島市宮島で開催）
- 紅葉の尾瀬（締切済）  
10月5日(土)～7日(月)（33人参加予定）
- 皿倉山の薬用植物を尋ねて（10月6日開催）
- 宮崎「ウエストン祭」前夜祭と祖母山登山  
11月3日(日)～4日(月)

- 全国年次晚餐会「東京」12月7日(土)開催。
- 10月参加締切
- 九重「冬季初心者訓練山行」  
12月22日(日)～23日(月)
- 犬ガ岳「冬山準備山行」  
1月19日(日)
- 大山「冬山山行」（参加費約18,000円程度）。11月締切  
2月8日(土)～2月10日(月)
- 福智山「親睦登山」

## 新役員メンバー

支部長	秦野一彦 (4325)
副支部長	大庭常生 (11395)
事務局長	江頭精一 (10448)
委員	原広美 (11990) 新任
	大楠益弘 (13465)
	兼光功 (13467)
	伊藤久次郎 (13499) 新任
	西村信子 (13520) 新任
	浜松礼子 (13523) 新任
	関口興洋 (13643) 新任
監事	蔵富幸夫 (11150)
	末吉史忠 (13642) 新任

3月9日(日)

第3号議案 平成14年度 収支予算書  
平成14年度（14年4月1日～15年3月31日）

### 1. 収入の部

項目	13年度決算額	予算額	差異	備考
前年度繰越金	299,084	327,768	28,684	
支部助成金	231,123	180,000	-51,123	
支部会費	228,000	200,000	-28,000	
支部入会金	8,000	10,000	2,000	
寄付その他	16,690	100,000	83,310	
合計	782,897	817,768	34,871	

第4号議案 その他

(1)年間行事予定表

第2号議案の諸行事に同じ。

(2)(社)日本山岳会北九州支部  
会員名簿(2002.9.1現在)  
全会員に配布予定

(3)日本山岳会北九州支部規約  
全会員に配布予定  
以上

2. 支出の部

項目	13年度決算額	予算額	差異	備考
会議費	162,285	100,000	-62,285	
支部報創刊	0	200,000	200,000	
印刷・通信費	172,887	180,000	7,113	
広報費	0	70,000	70,000	ホームページ作成
山行奨励金	24,122	50,000	25,878	
雑費	18,482	10,000	-8,482	
予備費	77,353	207,768	130,415	
合計	455,129	817,768	362,639	

## 体制を整えて出発!

JAC北九州支部の新役員による初委員会が9月18日(水)午後6時30分から八幡の大谷会館で開かれた。

秦野新支部長から、「先ず初めに体制を整えよう」との言葉から始まり、以下次のようなことが話し合われた。

○ 役員の内継について

○ 新役員体制について

- 支部長 秦野一彦
- 副支部長 大庭常生
- 事務局(庶務) 江頭精一
- 原 広美
- 関口興洋
- (会計) 兼光 功
- (組織) 大楠益弘
- 山行担当 大庭常生
- 〃 大楠益弘

- 〃 西村信子
  - 〃 原 広美
  - 〃 関口興洋
  - 〃 末吉史忠
  - 広報担当 伊藤久次郎
  - 〃 西村信子
  - 〃 浜松礼子
  - 監 査 蔵 富 幸 夫
  - 〃 末吉史忠
- 以上の体制で再出発する。

○ 会員状況

現在の会員数

- 本部会員 71人
- 支部会員 82人
- 合計 153人

○ 会員申請について

申請資格や手続きについては、支部のルールを決める。

○ 会費未納者の扱い

この機会に未納者全員に文書

## 新メンバーによる初委員会結果

を出し、その意志確認を行う。

- 機関紙の再発行について  
第7号(平成13年12月号)で発行がストップしていた「JAC北九だより」を第8号から再開させる。
- 原稿の収集について  
機関紙が続くためには、会員からの投稿が必要。  
会員はグループでも個人でも山行の都度投稿をお願いする。
- 山行記録の収集整備  
山行の計画と結果の報告が少ないので、必ず出してほしい。

### 『サロンルームで、 岳友と楽しくダベろう』

13465 大楠益弘

皆さん、元気で登っておいででしょうか。さて、しばらく休眠していました『サロンルーム』を再開いたします。話題は特別に決めていません。気軽にお出かけ下さい。行事予定で行った山行報告を中心に、グループや個人の報告をより詳しく行いたいと思います。山行の楽しかった思い出や、感想を写真も交えて、語り合い、次の山行へと再生産いたしましょう。下記の要領で開設いたします。どなたも気軽にどうぞ。

記

期日・時間 毎月第4水曜日18:00から

場所 小倉北区魚町「コールド」

電話 093-522-0565 (魚町銀天街、料亭武蔵より西へ約70m)

費用 三千元～四千元(ワリカン制です)

## お知らせ

### 預・貯金口座の整理と郵便振替口座の新設

会計 13467 兼光 功

これまで3口座設けていた支部の預・貯金口座のうち、下記の郵便貯金口座を残し、他は解約しました。

会費の管理を正確に解りやすくするためです。

また、より簡便に会費などを送金していただけるよう、郵便振替口座を開設し振込手数料を原則的には会が負担する事としました。

14年度会費が未納の方がおられます。早速、お近くの郵便局でこの振替口座を利用して、会費の振り込みをお願い致します。

郵便振替口座

口座番号 01790-3-102242

口座名称 日本山岳会北九州支部

郵便貯金口座

記号 17410 番号 57634761

口座名称 日本山岳会北九州支部

## 生命を大切に、仲間を大切に、自然を大切に

～支部長就任にあたって～

新支部長 4325 秦 野 一 彦

9月8日の臨時総会において新しい役員が選任され、吉村前支部長のあとをついで、私が支部長をお引き受けする事になりました。

高い見識と行動力をお持ちの大庭常生副支部長、江頭事務局長並びに他の役員の方々と共に、支部の運営、発展に努力して参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

山田二郎元会長(1989.5～1993.5)の「生命を大切に、仲間を大切に、自然を大切に」の言に感銘しております。この三つの基本原則をふまえて、新しい陣容で体制を整え、明るく、楽しい和気あいあいの支部にしたいと願っております。

支部が直面している多くの問題には真剣に、

かつ負担にならないレベルで取り組んで行きたいと思います。

また「J A C 北九だより」は、支部の活動の記録だけでなく、会の雰囲気伝わってくるものでありたいと思います。今回、会報の製作、編集などに豊富な知識と経験をお持ちの伊藤久次郎氏に担当をお願い致しました。

会員の皆様への情報の提供、皆様からの寄稿によって、会員の動向の把握、相互の情報の交換、相互の交流も生まれるものと思います。

会員の皆様のご指導を賜りつつ支部発展に寄与して参りたいと存じますので、暖かいご支援をよろしくお願い致します。

### 山行記

#### マンサクの花に感激！ ～平治岳登山

下関市長府 11990 原 広 美

3月17日早朝、家を出発して飯田高原に着いた時は快晴で、九重の峰々がくっきり浮かび上がって見えました。参加者20名の皆さんと一緒に吉部林道に向かう途中、事務局長の日向さんが所有されている山荘に立ち寄り中を案内していただき、ここで数台の車に乗り換え一路登山口へ。

A班よりスタートして間もなく胸突き八丁の急登が待っており、黙々と汗を拭きながら上に向かうと、沢の斜面にちらほらと黄色い花が見え出し、誰かが“マンサクの花”と言うとまるで宝物を見つけたような弾んだ声で「ほら、あちらにも、こちらにも」と。そこ

には黄色の糸状の花びらを咲かせており、それまでの急登の苦しさを忘れさせてくれるような感激でした。

少し行くと〈暮雨の滝〉の案内標識があり、5分で下ると豊富な水が谷いっばいに響くほど大きな音を立てて流れ落ちていました。その後は登山道とは思えない程なだらかな水平歩道が続き、ウグイス、アカゲラ、ヤマガラ等いろいろな小鳥の声を聞きながら、また山々の枯れ枝の芽吹きを感じながらの散策でした。時計はお昼近くになっていたでしょうか、時が経つのも忘れ、この木は花付きが多いだの少ないだの、思い思いの言

葉が行き交い、論議をしている間に日だまりの広場でちょっとした穴場を見つけて昼食です。

マンサクの大木の横でお花見をしながら食事を済ませたあと平治岳山頂へと向かい、早春の静かな九重に浸りながら、全員で日向さん差し入れのシャンパンで乾杯！

360度のパノラマを楽しみました。下山途中にミヤマキリシマの蕾が沢山ついているのを見ましたが、このまま虫に侵されず、6月には可愛い花を咲かせてほしいと祈る思いでいっばいでした。

この度の山行は、北九州支部が発足して初めての参加でしたので少々不安がありましたが、皆様のおかげで和やかな楽しい交流ができて有意義な一日でした。

### 山行記「新緑の英彦山」

#### 女性リーダーは速かった！

山田市 13541 高 畠 拓 生

平成14年4月20日(土)、第3回通常総会開催前の英彦山親睦登山に参加しました。集合場所は、午前8時30分別所駐車場。参加者は、CL西村信子、

SL浜松礼子、稲田静代、原広美、上野正喜、浦田和夫、舛木隆、関口興洋、立野卯三男、高畠拓生、西村俊二、馬場基介、瀬戸口利幸、大楠益弘の各氏で

計14人。

私が午前8時に別所駐車場到着。曇天で雲行きを心配しながら登山準備をしているところにJ A Cの皆様が集合し、世話役のリーダーが出欠をとりました。

英彦山野営駐車場に車を移動し駐車しましたが、その折、ある1人が車中に鍵を置き忘れたままロックするトラブルが発生、子供さんに電話連絡し、スペアキーの手配をしました。皆様も注意のこと。野営場を8時48分出発、高巢原スキー場は、草刈りされて広々としたスロープの下の自然歩道を歩き、高住神社駐車場でトイレ休憩と水補給を。同行の大楠氏は、総会会場準備のため、高住神社から引き返されました。いよいよ登り始めたが小雨模様になり、望雲台立ち寄りを中止して直行しました。女性リーダーは元氣一杯で歩行速く、吾々男性連中は休憩を求める有様でしたよ。鎖場は新しい階段の木道が出来て大変助かりました。北岳で小休、新緑の芽吹きに霧吹き水滴落ちる水玉の様子は絵になりますね。春虎尾の白い小花や黄色い花々を観察しながらの山歩きは楽しいですね。中岳到着10時42分。早めの昼食を避難小屋にて美味しいビールを飲みながら、山話も沢山語らい楽しいひとときです。ガスも消え、視界も良く、遠く九重連山が雲海の上に姿を見せ、指差してあの頂が三侯か大船か、左側の黒岳が見えた・・・と言って、雨上がりはよく見えるものですね。素晴らしい景色でした。

英彦山上宮前の石段を下り、

# 蚊をして山を負わしむ

「力の無い者に大きな仕事をさせること。壮士が、政治を治める心構えを、「天下を治めること」は、海を徒歩で渡るように危険この上ないことであり、大地を掘って大河を作るような困難さを伴う。十分承知して、とりかからなければ、蚊に山を背負わして行かせるようなものだ」と言ったことによる。

『史記の中で、力の無い者に仕事をさせて失敗した例を刺客列伝に見ることが出来る。戦国時代末期、秦が全中国を併呑しようとした形勢にあった。亡ぼされずに残っていた燕は、最後の手段として暗殺者を秦に送り、始皇帝を殺害することを考えた。荊軻という人物が

## 山の格言・故事 ①

燕の太子丹に見い出され、この役目を仰せつかった。刺殺を依頼した丹は荊軻を高級な宿舎に住ませ、車や馬、美女を贈り好遇した。しかし、しかなりの日数がたつても荊軻は出立する

素振りを見せなかった。じれったく思った丹は荊軻に出発を迫った。荊軻は同行する頼りになる友人の到着を待っていたのだが、丹にせかされて仕方なく出発することにした。

丹は、秦舞陽というならず者を伴いつけ、そして秦を欺くた

め、秦から亡命してきていた將軍の首と、督抗(燕の豊かな土地の名)の地図を持たせた。

秦の始皇帝は、二人を燕の使者として宮殿で引見することにした。二人が宮殿の階段にさしかかったとき、地図を入れた箱を持った秦舞陽は顔色を変えふるえだした。それを見た秦の群臣は怪しんだ。始皇帝が地図を見せるように言った。荊軻は地図の箱を開け、中にひそませていた匕首を握ると始皇帝を刺そうとしたが、体にとどかず打ちそこねてしまった。そして、冷静さを取り戻した始皇帝の剣で切られ、斬殺された。始皇帝は激怒し、燕を滅ぼした。

(大修館書店・山事典より)

(今回からシリーズで掲載いたします。伊藤Q 13499)

第2小屋で小休して、右折下る野鳥の森小屋を経て鶯谷野鳥観察コースを通り、野営場の上部に出ました。駐車場に全員無事下山、12時40分でした。女性リーダー西村さん、浜松さんに厚くお礼申し上げます。ご苦勞様でした。今日の山行は雨模様と総会時間の関係で気分的に

は急ぎ足になりましたが、楽しい山行が出来ましたことを嬉しく感謝いたしています。アドベンチャー森の家での檜風呂の入浴もまた結構でした。明日の鷹ノ巣3峰は、雨降り中止することになりそうですね。残念！

## 編集後記

はじめまして、事務局を担当する様になりました江頭です。10月からは新体制のスタートとして会員皆様とのコミュニケーションである機関紙を必ず定期発行いたします。又、山行計画も確実に実施していく予定です。基本姿勢は実費(割勘)で行います。最後に、支部の運営に会員皆様のご協力をお願い致します。(江頭)

今回の臨時総会で機関紙「JAC北九だより」を担当することになりました伊藤Qです。横書きの編集はなかなか難しいですが、親しめるような紙面にしたいと思っています。先ずは少し紙面を変えてみました。横2段から横3段へ。情報量増やすために文字の大きさを10ポイントに。

さらに「山の格言、故事」をシリーズで掲載します。機関紙を継

続するためには、皆様からの原稿がなくてはなりません。グループ山行であれ個人山行であれ、何でも結構です。原稿は、伊藤久次郎までお送り下さい。郵便、FAX(新設)、Eメールどれでも。

Eメールの場合アドレスは(qito@mx71.tiki.ne.jp)です。又その時の写真もお送り下さい。(住所 〒826-0032 田川市西平松11-8。TEL 0947-42-2772) (伊藤Q)